

## 令和7年度 砺波市総合教育会議（第2回）概要報告

- 1 開催日時 令和7年12月19日（金） 午後1時30分～午後3時00分
- 2 開催場所 砺波市役所 3階 小ホール
- 3 出席者 夏野市長、白江教育長、林教育長職務代理者、齋藤教育委員、岩崎教育委員、吉澤教育委員
- 4 出席職員 坪田企画総務部長、安地教育委員会事務局長、佐伯企画政策課長、幡谷教育総務課長、端谷こども課長、金平生涯学習・スポーツ課長、川合教育センター所長、小幡企画政策課企画調整係長、田中教育総務課庶務係長

### 5 議 事

#### （1）教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について

- ア 砺波市立中学校再編計画（案）について（教育総務課）
- イ 「自立した学習者の育成に向けて」について（教育センター）
- ウ 「砺波市こども子育て交流館 こどもおーる」について（こども課）
- エ かいによ苑の民間利活用導入に向けた対話（サウンディング）型市場調査の実施結果について（生涯学習・スポーツ課）

### 6 会議の概要

#### （1）開会

#### （2）市長挨拶

市長

中学校の再編については、教育委員の皆さんに何度もご議論をいただき、ご協力もいただいた。実際に関係の地区やPTAの皆さんに対し、説明に行かせていただき、大方のご理解は得たのではないかと考えている。また、議会等でもたくさんの議論があり、パブリックコメントにおいてもひっくり返えるような意見もなく、今回、しっかりと内容を説明させていただきたい。

10月に新たなGIGA端末が市内全校に配置され、大きな混乱もなく更新ができたことは良かったと思っている。

イオンモールとなみ内に「こども居場所づくり」として、新たな施設の「砺波市こども子育て交流館こどもおーる」が来年1月7日にオープンすることとなった。全市的にも利用していただけるのではないかと考えている。

「かいによ苑」の利活用に対して、民間事業者とのサウンディング型調査を実施させていただいた。その結果も含めてご説明させていただきたい。

### (3) 議事

ア 砺波市立中学校再編計画（案）について（教育総務課）

事務局 （事務局説明）

市長 再編計画については、何度もご覧になったと思いますが、特に説明会の報告書やパブリックコメントなども含めてお気づきな点等ありましたら、ご発言いただければと思います。

地区や保護者の皆さんのご意見をまとめると生徒のいろんなケアを上手くやってほしいこと。通学に関する配慮。この2点が大きなものではないかと思っています。

いくつかは開校準備委員会で決定するものもありますが、基本的な方針としては、パブリックコメントでもあったように子供たちに過度な負担をかけること。また、遠距離通学についても一級河川「庄川」を渡る生徒については、例え、通学距離が6km以内であったとしてもスクールバスで対応をしたいと考えております。

そういったことも含めてご意見等をいただければと思います。

教育委員 5年前の令和2年に「学校のあり方検討委員会」が立ち上がり、令和5年には「学校規模適正化検討委員会」ができました。本年4月に答申書が提出されたといった流れでありましたが、5年間かけて段階を追って進めてこられたことが大きな問題もなくスムーズに流れてきているのではないかと思います。

各説明会での自治振興会やPTAのご意見としては、一番は通学の問題。生徒の心のケアの問題がメインであったと思います。その辺りは適宜、対応をしていただければと思います。

令和11年度から開校準備委員会が開校されるということですが、具体的な物事が決まっていくということで、これに対しても1人でも多くの皆さんが納得できるような形で協議して進めていただければと思います。

教育委員 子供たちの交流事業をしてほしいとの声をよく聞くのですが、資料では、タブレットでフィグジャムというツールを活用しながら、オンラインで一緒に授業をしていきたい旨が書かれており、対象となる年齢の子供たちが、このようなツールを使って仲良くなっていけばいいと思います。

市長 今、ご発言されたツールを使うだけではなく、実際に一緒になって行う交流事業も増やすしていく必要もあると考えております。

教育委員 令和2年の「学校のあり方検討委員会」から、本当に統合が目の前にやってきたなと思います。新設校の開校が令和15年の4月と聞いて、少し先の話だと思ったが、それだけ準備が必要だということが納得できました。丁寧に議論を進めて、丁寧に話しを紹介して、意見を取り上げていきたいと思えます。

令和11年度から開校準備委員会を立ち上げられるということですが、令和11年度から立ち上げる理由を説明していただきたい。

統合後の新設中学校の生徒数を見ると、周りからは大規模校になるから心配だという声があったが、全然そんなことはなく、中規模校の規模なので大

規模校になるから心配だということは当たらないと思いました。

事業手法の検討で、P F I について説明をされたが、もう少し詳しくどんなメリットがあって、どんなデメリットがあるか教えていただきたい。

事務局

令和 1 1 年度に開校準備委員会を立ち上げる理由といたしましては、できるだけ開校に近い年代の方々に議論に参加していただきたいということがあります。ただ、概要説明会の際にはもっと早く立ち上げるべきではないかとのご意見もいただいているところであります。

人数的には中規模校になると思いますので、教員の目も十分に行き届くと考えております。

P F I とは、公共施設の建設や維持管理、運営などを民間の資金やノウハウを活用して行うものであり、その中でも様々な手法があります。

P F I のメリットといたしましては、財政支出の削減の可能性があります、公共のリスクを民間へ移転が可能であることが挙げられます。デメリットといたしましては、準備に時間がかかるということでもあります。

市長

様々なところで再編についての話をする機会がありますが、全体的にもう少しスケジュールを早められないかということはお聞きしております。

新校舎の建設場所は、現在の庄西中学校の校舎をそのまま利用するわけではないため、一部は用地を購入し、農振除外や農地転用などの手続きが必要となり、あっという間に 1 年ぐらい経ってしまうため、今のスケジュール的にはギリギリではないかと考えています。早められても半年だと思います。一見すると皆さんが言われるとおり長い話だなと感じるのですが、実はそうではないということでもあります。

P F I については、民間事業者が役所とは違う感覚で維持管理マネジメントをやってもらえるのであれば、その分が減らせるわけであり、コスト削減につながるのであれば悪い話でもないと考えております。

開校準備委員会については、これからキーになると考えておりますので、人選を含めてしっかりとやっていただくようお願いしたいと思います。

教育委員

基本計画に含まれる中身とその中身について、どこが決めていくのかということをお聞かせ願いたい。

事務局

基本計画につきましては、現在の庄西中学校の周辺のどこに新校舎を建設すればよいのかといったことやどのような配置にすればよいのかといったことを業者に委託して市と協議しながら進めていくこととなります。

教育委員

基本計画は、建物の計画で、中身の計画については、開校準備委員会で決めていくということでしょうか。

事務局

そのとおりであります。

教育委員

P T A の再編について記載があったと思いますが、それは、P T A の枠組みのことでしょうか。

事務局

P T A につきましては、現在、各学校ごとにありますが、それを 1 つにする必要があるため、再編が必要となります。

市長

今、お聞きした範囲ではこの方向でしっかりやれということだと思いますので、この計画内容で策定ということでしょうか。

教育委員 異議なし

イ 「自立した学習者の育成に向けて」について（教育センター）

事務局 （事務局説明）

教育委員 先日、仕事でマレーシアから来た留学生の生徒と一緒に、市内のある小学校を視察しました。いろんな授業を見て、最後に授業はどうだったかと聞いてみたら、自分の国よりも先生と生徒の距離がすごく近いということや授業の内容が勉強だけでなく、体育の授業があったりとか、お楽しみ会などの準備の時間があり、留学生と一緒に折り紙をしたり楽しかったということでした。先生と生徒の距離感が近いということがすごく印象的だったということでもあります。この心の健康観察が2回になって、先生がより子供の話を聞きたいという風に思っていただけということは、具体的に見ても子供に優しい学校なのではないかと思います。

教育委員 AIに関してですが、学校で子供たちや教員が使う生成AIはどの種類を想定されているのですか。

40分授業に関してですが、午前中に5限目までするということは、朝活動をやめるのか、長休みを短くするのかなど、どこかで折り合いをつけなければ難しいのではないかと思います。

どのような時間の流れのイメージになるのか教えていただきたい。

事務局 どんな生成AIを活用するのかというご質問ですが、基本的には砺波市は学校用のアカウント経由でのアクセスを原則とし、安全性を担保いたします。

生成AIについては、ジェミニを使います。また、キャンバというアプリを活用し、プレゼン資料の作成、動画や図の作成などを行いたいと考えております。

40分授業についてですが、現在、試行段階であり、学校の裁量もありますが、基本的には朝の会を短くいたします。

時間の流れのイメージとしては、午前中に集中力を必要とする授業を当て、午後からは、5分ずつ短くなった時間の25分をスキルタイムとして読書をしたり、自分の学習が不足していると思う教科に当てたりすることを想定しております。

また、学校によっては、これまで8時15分から始業だったところを8時に繰り上げを行い、午後の時間にゆとりをもたせようとする学校もあると思います。

教育委員 繰り上げて授業をすることはいい考え方だと思います。ただ、子供の負担は大きいかもしれないが、それは学校の裁量で決めていくのですか。40分授業は、令和8年度の4月からスタートするのですか。

事務局 繰り上げについては、学校の裁量で決めることができますし、40分授業については、市内の全小学校で令和8年の4月からスタートします。

教育委員 そうすると、概ねどのようなスケジュールにするか決まっているのですか。

事務局            ほとどの学校も案は固まっており、試行としてスタートしている学校もあります。

教育委員        上手くいきそうだと思います。

市長            新たな試みで各学校も試行錯誤していると思いますが、逆に言えば、各学校にある程度裁量を持たせて、その中で段々といい形に絞られていくのではないかと思います。

また、先生が長話をしている暇はないということになるわけであり、そういった意味では集中してやるという意味ではいいと思います。

それから、タブレットを活用することにより一目で理解している子供とそうではない子供がわかったので、そういう意味では子供1人1人との学習の進路みたいなものを感じているのかと思えば、お互いによかった気がします。今回、砺波市がチャレンジをして成功すればもっと広がっていくと思います。

教育委員        心の健康観察で、先生と子供たちの距離が縮まり、会話が増えたということで、安心したのですが、逆に午後から曇りマークの子供たちが増えると先生の不安が増えるのではないかと心配します。子供たちのことを思っていただけの先生方の気持ちはうれしいのですが、やはり子供たちが家に帰って、お父さんとお母さんに学校の出来事や楽しかったことを聞いてあげて、保護者が安心して次の心をリセットし、次の日に学校に通わせるということが理想であり、親がもっと子供たちの心の観察をしてほしいと思っております。

市長            保護者との関係はどうか。

事務局           今ほどのご発言のとおり、保護者の方が子供たちの話を聞いていただくことが1番ですが、例えば、子供が楽しかったという話をしてくれたら、親としてもよかったねという明るい会話になります。ところが、学校で嫌なことがありモヤッとした気持ちで家に帰り、嫌だったことを家で話すと親は心配になるし、子供は次の日に学校に行きたくなくなるなどの悪循環に陥ります。そうすると教員は後になって、保護者の方のお話を聞き、子供の話も聞くことになります。そういったことから、もっと早く子供たちの話を聞いてあげるほうがスッキリと過ごせると考えています。

市長            学校であったことについて、保護者に伝えることはあるのですか。原則は伝えないのですか。

事務局           子供たちの様子は教員が1番よくわかるので、子供に応じた対応をしています。

教育委員        毎年、となみ授業スタンダードが更新されて授業改善が進んでいますが、学校訪問をして、感じたことをお話します。

教科や授業を見たタイミングにもよりますが、コロナ禍前までは教師主導型で、先生の声が多かったように思います。最近は、どうかというと子供たちの声の方が多いと思います。そして、子供たちが教室内でグループを作るために動いたり、先生に何か聞くために動いたりしている場面がよく見られるようになりました。これは、子供が主体的に学習を進めている表れではないかと思います。そして、その成果を問われるわけですが、全国学力調査や

先生方の研修会での様子についてお聞きしても、成果が上がっていると感じます。午後からの心の健康観察については、8時間ほど学校にいるわけで、その学校生活の中で、いじめが起きたり、嫌なことを言われたりすることがあると思います。先ほども事務局よりお話がありましたが、やはりできるだけ早く解決する。できればその日のうちに解決することが望ましいわけで、午後からの心の健康観察というのは非常に有効的なことではないかと思います。今までなぜ思いつかなかったのかということと、なるほどなという感じであります。

市長           今は試行なので、令和8年度に本格的に実施した際にはしっかりとレビューをすればよいと思います。

ウ 「砺波市こども子育て交流館 こどもおーる」について（こども課）  
事務局           （事務局説明）

市長           これまで、よく耳にしたのが砺波市内には天気がいい時は遊ぶ所がたくさんあるが、天気が悪い時にはないということであります。その通りでありまして、新潟県でやっている例があったため、視察をしてから、今回、交渉し、オープンする運びとなりました。

是非、活用していきたいと思います。

教育委員       利用登録とありますが、もう始まっているのですか。

事務局       始まっております。

教育委員       現在の登録状況を教えてください。

事務局       11月26日から受付開始をおこなってりましたが、12月15日で一旦締め切っております。状況としては、約900人ほどの申込みがあったところであります。

教育委員       中学生とか高校生とか幼児とか、区切りはあるのですか。

事務局       申込みの際に学校名を入力していただくこととなっており、未就学、幼稚園、保育園に通っておられるような未満児の方は全体の5割程度で小学生が4割、中学生と高校生が残りの1割であります。

教育委員       年度途中での登録は可能なのでしょうか。

事務局       もちろん可能であります。1月7日にオープンするために利用カードをお渡しする必要があり、現在、一旦締め切りとさせていただいていますが、今後、随時受付をしていく予定としております。

市長           カードを持っていない人が、利用当日にカードを発行してもらうことは可能なのか。

事務局       申込みは自分でしていただき、少しお持ちいただくことになりますが、カードは利用当日に発行が可能であります。

教育委員       すごく人が来そうですね。

事務局       そのように予想しております。

教育委員       イオンモールとなみには、入り口がたくさんあります。どこから入るかということも資料には記載されています。平日については車の駐車は多くありませんが、土日になると満車状態となり危険なため、受付窓口に来るまでの

ルートを子供たちに教えとく必要があるのではないかと思います。

事務局 今ほどもご指摘のとおり、駐車場の横断などは危険なため、学校の方には映画館側の入り口を利用するように指導していただきます。

教育委員 ルートを決めるということが大事だと思いますので、命を守る配慮をお願いします。

市長 運営が始まってから、そこら辺を確認して関係課等々と検討をしていただきたいと思います。

教育委員 人数制限とかありますか。

事務局 人数制限は必要であると考えております。下駄箱については、80人が利用できる数はあるのですが、運動スペースに80人利用すると危険なので、20人ずつ交代で利用するような形にしたいと考えております。

市長 運動スペースなどは交代制しないと駄目だと思っています。正直なところまだオープンしていないため、どうなるかわかりませんが、様子を見て経験を積みながらやっていこうと考えております。

日によっては読書スペースしか利用しない場合もあると思います。

教育委員 窓はあるのですか。

事務局 映画館とペットショップとの間に位置するため、窓はありません。しかし、天井も高く、壁も明るくしているため、閉塞感はありません。

#### エ かいによ苑の民間利活用導入に向けた対話（サウンディング）型市場調査の実施結果について（生涯学習・スポーツ課）

事務局 （事務局説明）

市長 資料をご覧になったとおり、様々な意見がありました。かいによ苑は茅葺き屋根が特徴ですが、維持を考えた時にかなりの負担がかかります。

また、「かいによ」ということで杉などがあり、近所からは落ち葉などが迷惑だといった声もあります。施設自体、自由な形にできるレベルになっているため、今後、行うプロポーザルでどんな提案が出てくるか、少なくとも見所のないものではないということがわかったので、当然、利活用について進めていきたいと思っています。

教育委員 以前、かいによ苑についてお聞きした時に、茅葺き屋根の葺き替えに2千万円かかるということで、これを維持し続けることは難しいと思っていました。プロポーザルのスケジュールは立っているのでしょうか。

事務局 今のところ、まだ細かいスケジュールは立てておりませんが、今後、どういう仕様でこういった条件をつけて募集するか内容を決めるなど、進めて行きたいと思っています。

#### （4）教育長挨拶

教育長 40分授業や生成AIなど令和8年度に新たな試みをしていきたいと考えております。これまでよりまた、ステージが上がるような形になってきています。それも、教員の授業改善が進んだからできることであります。

ただ、改善しないのが、いじめ不登校の減少は、いろんなことをやって

もなかなか止まらないということであります。

今回、心の健康観察を2回できるようシステムを作ってもらいました。これは、全国でも例のない形だと思っています。この新しい試みが成功すれば、不登校の減少に繋がったり、保護者も落ち着いて子供たちを見ることができるようではないかと思えます。

砺波市民の方が気持ちよく働いていただくためには、子供たちも気持ちよく帰ることが一番いいと、それがウィンウィンになるということが大きなセールスポイントだと考えております。

## (5) 閉会